こころまち つくろう
KEIHAN
京阪電鉄不動産

報道関係者各位

2020年1月9日

マンション特有の不安要素を、居住者様と京阪電鉄不動産との役割分担で解消
2020年1月17日(金)にマンション防災プログラム「FINE BOX」を始動。

居住者様と京阪電鉄不動産が役割を明確にし、日頃から安全安心な暮らしづくりに取り組みます。

FINE BOX
和ごころ防災

▲ FINE BOX ロゴマーク(縦版)

京阪電鉄不動産株式会社(本社:大阪市中央区、代表取締役:道本 能久)は、阪神・淡路大震災から25年となる2020年1月17日(金)より、マンション防災プログラム「FINE BOX」を始動します。2020年3月に竣工する「ファインエクストラシティ」(大阪市東淀川区)をはじめ、当社マンションブランド「ファイン」シリーズ関西圏の物件より導入していきます。

当社では、地震や台風などに対するマンション特有の災害リスクを再検証し、マンションでの避難生活を想定した防災への取り組みを新たに策定しました。

居住者様・当社・管理会社・管理組合が手を取り合い「和(輪)になる」思いを「和ごころ」に込め、もしもの時の不安を解消しつつ住まいと暮らしを包み込むことをコンセプトにしています。「FINE BOX」は建物や設備、共用備蓄での災害対策や、居住者様同士のコミュニティ醸成だけでなく、もしもの時のマンション特有の不安不便を解消する防災アイテムのご提供や、マンションならではの防災組織の立ち上げまでをサポートする防災プログラムです。

本プログラムには、コミュニティづくりと防災の専門家であるHITOTOWA INC.(本社:東京都目黒区、代表取締役:荒昌史)が参加し、防災組織づくりに取り組む管理組合運営を支援します。

マンション特有の不安要素とFINE BOXでご提案する解決策

各世帯の防災意識を高めるための備蓄品を設置・提供するだけでなく、居住者様ご自身が暮らしを守るためにどんな防災グッズを用意すべきか、もしもの時の行動方法など、日頃から防災意識を高められるようなサポートを行います。

マンション特有の課題		FINE BOX での解決策
災害時、どこに避難すべきかわからない。	→	防災備蓄品の一部を提供することで、住み慣れた自室で被災生活を送ることができるようにサポートします。
防災設備・備蓄品の場所や機能、使い方がわからない。	→	マンション内の防災拠点の位置や機能、周辺情報まで載ったマンションオリジナルの防災パンフレットをご提供します。
居住者同士で助け合えるのか、誰が指揮できるのか不安。	→	専門家と一緒に防災組織の立ち上げ・活動をサポートします。

相互の役割を明確にしながら安全安心な暮らしをサポートします。

京阪電鉄不動産　　居住者 / 管理組合 / 管理会社

ささえる

竣工写真(ファインシティ甲子園)

安全安心に配慮したマンションをご提供し、居住者様の暮らしを守ります。また被災生活も考慮し、もしもの時の行動がしやすいマンション環境を整えます。

そなえる

※掲載設備や備品の中身は変更する可能性があります

マンション内での被災生活を想定したオリジナル防災バッグや各マンションオリジナルの防災パンフレットを各世帯にご提供。共用部の備蓄品も防災イベント時に活用し、もしもの時に備えます。

はぐくむ

参考写真

居住者様同士が日頃から災害を想定し、協力し合える防災組織の立上げを専門家がサポート。居住者様が参加しやすい交流イベントや防災訓練も開催していきます。

本件に関するお問い合わせ先》京阪電鉄不動産(株) 事業推進部 FINE BOX推進室 担当/mail:fine_box@keihan-kiss.co.jp

これまでの準備プロセスと今後の計画

2019年1月 プロジェクト会議開始	2020年1月17日 FINE BOX 概要一般公開	2020年3月 ファインエクストラシティ入居開始
FINE BOX ブランド計画	物件ごとの計画	

調査・分析 → コンセプト → デザイン → 環境調査 → 交流イベント → 防災組織づくり

参考写真

過去の災害や居住者様からの声を活かした防災

過去の災害時のマンション状況や居住者様の声の収集・分析を改めて実施。避難所の状況等も考慮し、被災後もマンションで安心して暮らせることを目指した取り組みを展開していくことに決定しました。

互いに手を取り合って災害に向き合う取り組み

居住者様・当社・管理会社・管理組合が共に手を取り合い、役割分担しながら協力してマンション防災に取り組むことをコンセプトに。また、日頃から居住者様同士が共に助け合える関係を育みます。

参考写真

居住者様同士が繋がり防災に取り組む雰囲気の醸成

居住者様が気軽に参加できる交流イベントを開催。当社が提供する防災バッグや防災パンフレットを活用した楽しいコンテンツを通じて、居住者様同士が繋がり、防災についてみんなで取り組む雰囲気を醸成します。

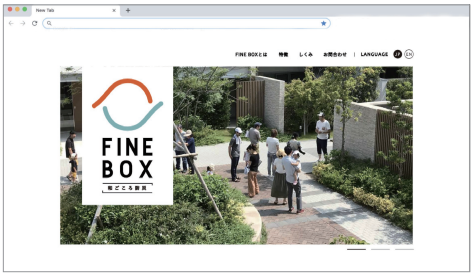
参考写真

居住者様同士で災害時に助け合える防災組織づくり

居住者様有志で防災委員会を組織し、その立ち上げを専門家がサポート。災害発生時のマンション内ルールや事前の備えについて協議を行い、災害後もマンション内で助け合える環境づくりに取り組みます。

安全安心な場所に包み込まれるイメージをデザイン

▲ FINE BOX ロゴマーク(横版)



▲ FINE BOX webサイト完成イメージ

当社のマンションブランドである「FINE」に加え、居住者様を「安全安心な場所に包み込む」という意味を込めて「BOX」と付けました。また、当社全体のイメージとして掲げる日本古来の「和」のイメージ、人と人が本プログラムで手と手を取り合い「和(輪)」になるイメージから、「和ごころ防災」というコピーをつけました。webサイトでは、本プロジェクトを始めるに至った想いをはじめ、日頃から備えてあれば安心な備蓄品を紹介しています。グラフィックデザインは、社会課題解決のデザインに取り組むNPO法人Co.to.hanaが行いました。

2020年1月17日(金)10:00始動 ｜ https://www.keihan-kiss.co.jp/finebox/

本プログラムに参加協力している専門家

プロジェクトアドバイザー：HITOTOWA INC.

HITOTOWA INC.

http://hitotowa.jp

ネイバーフッドデザインという、マンションや団地、地域のつながりをつくり、人々の豊かな暮らしの実現に取り組んでいます。主に、共助の防災減災を果たすためのワークショップや伴走支援を行なっています。

デザイン：NPO法人Co.to.hana

Co.to.hana

https://cotohana.jp

社会課題の解決に取り組むデザイン事務所です。課題の本質を探り、必要に応じたデザインで課題解決に取り組みます。また、各分野で活躍する専門家と共に取り組むことで、社会に大きなムーブメントを起こします。